

国際リニアコライダー (ILC) 計画の疑問と不安

「東日本大震災津波復興基本計画 参考資料」岩手県復興局 H23 年 8 月 p49 に

TOHOKU 国際化学技術研究 3 特区として

「国際素粒子・エネルギー研究ゾーン、国際海洋研究ゾーン、国際防災研究ゾーン」があげられている。

この中の「国際素粒子・エネルギー研究ゾーン」では ILC を誘致するとして、中核となる「国際素粒子・エネルギー研究所」の研究内容として

「新エネルギー研究拠点、素粒子物理・物質生命科学研究拠点、国際先端医療拠点」が上げられており

新エネルギー研究拠点として

- ・超伝導加速器による未臨界炉 (ADSR)
 - ・放射性廃棄物処理研究
- の2つが上げられていました。

このことについて

復興基本計画や復興実施計画には記載されていません。

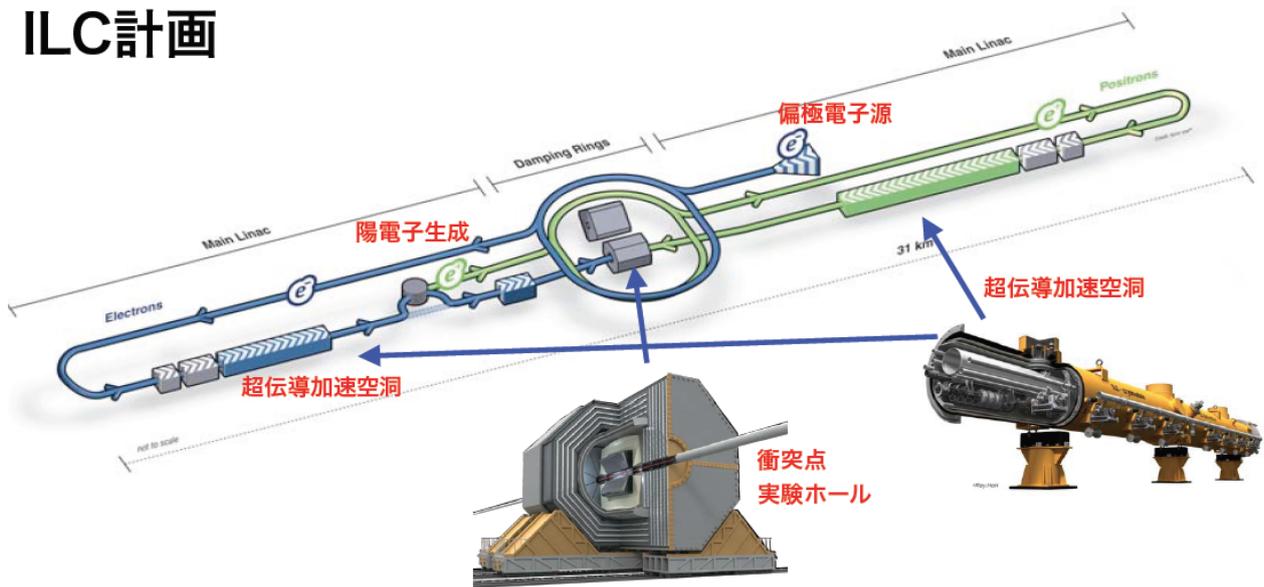
【疑問点】

- 1 未臨界炉 (ADSR) とは何か <核分裂を研究するのか>
- 2 放射性廃棄物研究とは何か <高レベル放射性廃棄物を持ち込むのではないかと>
- 3 <高レベル廃棄物ガラス固化体の最終処分場へ道を拓くものではないかと>
- 4 <この計画はいつ、誰が、計画を持ちかけたのか 復興基本計画の経過報告になし>



ILC 計画の参考図

ILC計画



電子・陽電子 衝突型加速器

重心エネルギー 500GeV (30km) 1TeV(50km)

超伝導加速空洞

ナノ(nm)サイズのビーム衝突

シンクロトロン

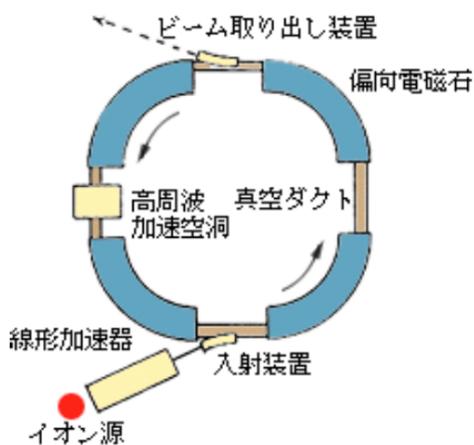


図1.シンクロトロンの構成

ビーム（加速される粒子群）が一定の軌道を通るように磁場を調整する。

現在の大型加速器は全てシンクロトロン



佐賀県には
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター
があります。